第一フロンティア生命の変額個人年金保険

# わくわくポケット

年金原資保証型変額個人年金保険（14）

# 特別勘定　月次運用レポート

| 特別勘定名称 |
| --- |
| GDグローバルアセット型 |

**この商品は、第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険であり、預金とは異なります。**

## 2026年10月発行

［募集代理店］

［引受保険会社］


第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始などの休日を除く）


（登）B18F0141（2018.4.17）

## 投資リスクについて

この保険は、日本・米国・欧州・新興国の株式、日本・米国・欧州の債券、米国・欧州のリート（不動産投資信託）、商品（コモディティ）、米国のエネルギー関連事業への投資などで実質的に運用されるため、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながることから、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

## 諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費（年金管理費）」となります。ただし、解約時などには、この他に「解約控除」がかかります。

| 項目 | 費用 | 時期 |
|---|---|---|
| 保険契約関係費 | 特別勘定の資産総額に対して年率 3.22% | 左記の年率の1/365を積立金から毎日控除します。 |
| 資産運用関係費※1 | 信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して年率 0.11%（税込） | 左記の年率の1/365を投資信託の信託財産から毎日控除します。 |
| 解約控除 | 基本保険金額（減額の場合は減額する部分の基本保険金額）に経過年数別の解約控除率（8.0%を上限）を乗じた金額 | 解約・減額または「運用期間中年金支払移行特約」を付加した時に積立金から控除します。 |
| 保険契約関係費※2（年金管理費） | 受取年金額に対して最大 0.35% | 年金支払開始日以後、年金支払日に控除します。 |

※1　上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券・金融派生商品の取引にかかわる費用および消費税などを間接的に負担していただきます。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により将来変更される場合があります。

※2　年金額は、年金支払開始日以後、年金の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

## 特別勘定の内容

| 特別勘定の名称 | 主な投資対象となる投資信託の名称 | 運用会社 |
|---|---|---|
| GDグローバルアセット型 | DIAM世界アセットバランスファンド14VA（適格機関投資家限定） | アセットマネジメントOne株式会社 |

## ご留意事項

＊年金原資保証型変額個人年金保険（14）は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払の対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。

＊このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険（14）の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

**＊このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険（14）の商品内容のご説明はございません。ご検討、お申込みに際しては、専用の「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）兼 商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」などを必ずお読みください。**

# 特別勘定の運用レポート

2026年9月末現在

## 特別勘定の投資方針

日本・米国・欧州・新興国の株式、日本・米国・欧州の債券、米国・欧州のリート（不動産投資信託）、商品（コモディティ）、米国のエネルギー関連事業などを実質的な投資対象とする投資信託に投資し、特別勘定資産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

●実質的に、先進国・新興国の「株式」、先進国の「債券」、米国・欧州の「不動産（リート）」、エネルギーなどの「商品」、米国の「エネルギー関連事業」の5つの資産に投資し、市場環境に応じて、配分を毎月見直します。

●さらに、「短期金融資産」に配分することで、資産全体の値動きを一定の範囲に抑えるよう毎日調整します。

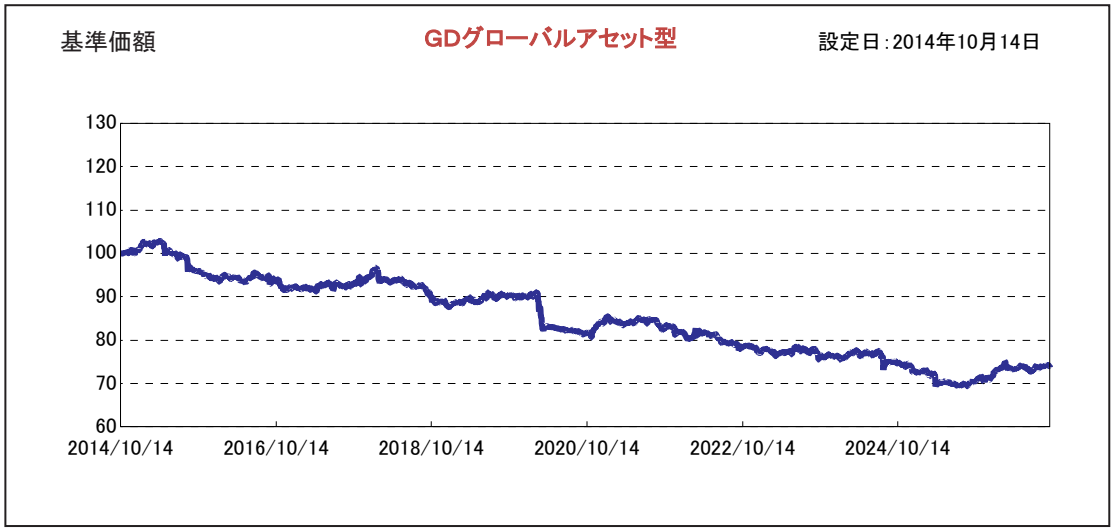



## 特別勘定資産の内訳

| 資産総額（百万円） | 資産配分 | |
|---|---|---|
| | 投資信託 | 現預金等 |
| 30,898 | 99.6% | 0.4% |

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用するほか、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

## 特別勘定の基準価額と騰落率の推移




＊非表示部分を四捨五入

| 騰落率 | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 | 基準価額（2026年9月末） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | −0.45% | 0.97% | 0.42% | 5.13% | −4.48% | −26.33% | 73.6725 |

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

# 〈参考情報〉 組入投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】
GDグローバルアセット型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

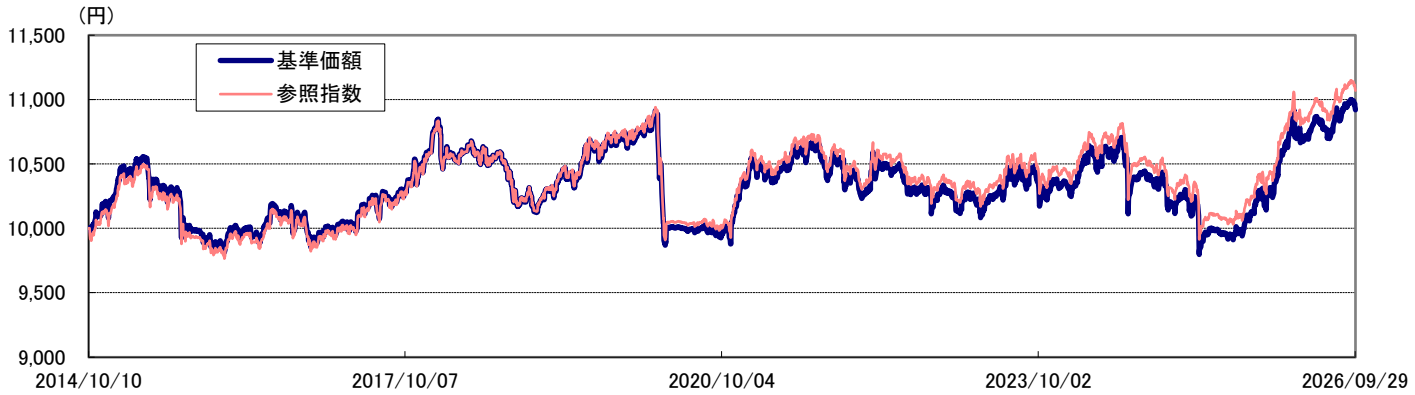
【投資信託の名称】
## DIAM世界アセットバランスファンド14VA(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

■投資方針
当ファンドは、ゴールドマン・サックス証券株式会社とのスワップ取引等を通じて、「モメンタム・ビルダー J13 V4 シリーズA 戦略」(以下、「参照指数」といいます。)に概ね連動する投資成果をめざし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

## 基準価額の推移(税引前分配金再投資)




基準価額は税引前の分配金を再投資したものとして計算していますので実際の基準価額と異なることがあります。
基準価額および参照指数は設定日(2014年10月14日)の前営業日を10,000として表示しております。また、参照指数は当ファンドの基準価額に反映される日を基準に表示しています。
基準価額は信託報酬控除後です。
参照指数の推移は、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

## 当月末基準価額・純資産総額

| | |
|---|---|
| 基準価額 | 10,921 円 |
| 純資産総額 | 30,808 百万円 |

## ポートフォリオ構成

| | 評価額 | 組入比率 |
|---|---|---|
| 参照指数を対象とするスワップ取引 | 30,916 百万円 | 100.4% |

※1 組入比率は純資産総額に対する割合です。
※2 当ファンドは、参照指数を対象とするスワップ取引の他に、主に以下の資産を保有しています。なお、日経平均株価を対象とするスワップ取引を行うことにより、基本的に日経225現物バスケットの時価変動の影響は受けません。

株式(日経225現物バスケット): 29,703百万円
日経平均株価を対象とするスワップ取引: 29,703百万円

## 騰落率(税引前分配金再投資)

| | 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 当ファンド | −0.18% | 1.80% | 2.06% | 8.58% | 5.23% | 9.21% |
| 参照指数 | −0.17% | 1.85% | 2.13% | 8.74% | 5.68% | 10.70% |
| 差 | −0.02% | −0.05% | −0.07% | −0.16% | −0.45% | −1.49% |

※1 騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。
※2 参照指数の騰落率は、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】GDグローバルアセット型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

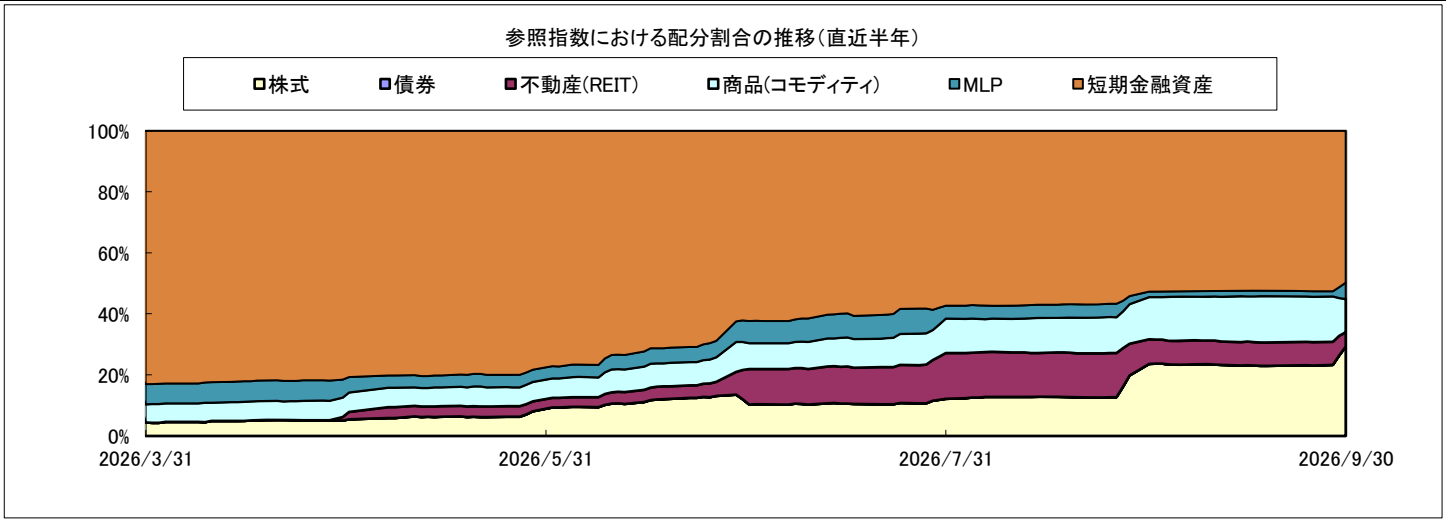
【投資信託の名称】
**DIAM世界アセットバランスファンド14VA(適格機関投資家限定)**

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

**当ページは、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたデータを基に作成しています。**

## 【参考情報】資産配分割合の状況




| 資産種類 | 構成要素 | 配分割合 | | 1ヵ月騰落率 |
|---|---|---|---|---|
| | | 前月末 | 当月末 | |
| 株式 | 日本株式先物ロール戦略指数 | 0.7% | 2.6% | −0.25% |
| | 米国株式先物ロール戦略指数 | 12.8% | 19.5% | −0.74% |
| | 欧州株式先物ロール戦略指数 | 8.9% | 6.8% | −1.77% |
| | DAXglobal® BRIC ネット・トータル・リターン指数 | 0.0% | 0.0% | 1.24% |
| | Next 11 Core 8 トータル・リターン指数 | 1.2% | 0.4% | −3.88% |
| 債券 | 日本国債先物ロール戦略指数 | 0.0% | 0.0% | −1.14% |
| | 米国国債先物ロール戦略指数 | 0.0% | 0.0% | −3.45% |
| | 欧州国債先物ロール戦略指数 | 0.0% | 0.0% | −2.91% |
| 不動産(REIT) | FTSE EPRA/NAREIT米国不動産指数 | 8.0% | 4.7% | −5.99% |
| | FTSE EPRA/NAREIT欧州不動産指数 | 0.0% | 0.0% | −7.36% |
| 商品(コモディティ) | S&P GSCI E142 トータル・リターン指数 | 13.9% | 11.0% | 5.49% |
| MLP | モーニングスターMLP コンポジット トータル・リターン指数 | 1.8% | 5.3% | −5.01% |
| 短期金融資産 | 短期金融資産 | 52.7% | 49.8% | 0.09% |

※1ヵ月騰落率は当ファンドの月末営業日の基準価額に反映される値を基に計算しています。
※配分割合は各資産における配分の状況です。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】GDグローバルアセット型

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、アセットマネジメントOne株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
**DIAM世界アセットバランスファンド14VA(適格機関投資家限定)**

【設定・運用】
アセットマネジメントOne株式会社

2026年9月30日現在

**当ページは、ゴールドマン・サックス証券株式会社から提供を受けたコメントを基に作成しています。**

## 市場概況

9月のドル/円相場は、1.67%の円高ドル安となりました。東証株価指数、S&P500種指数、およびドイツDAX指数といった先進国株式市場は、前月末比でそれぞれ▲1.15%、▲0.45%、▲4.03%となり、新興国株式市場は下落しました。一方、日本10年国債利回りは0.108%上昇(価格は下落)、米10年国債利回りは0.53%上昇(価格は下落)、ドイツ10年国債利回りは0.26%上昇(価格は下落)となりました。米国リートおよび欧州リートは前月末比でそれぞれ▲5.33%、▲7.07%となりました。その他、商品市況とMLPは前月末比でそれぞれ+4.04%、▲7.26%となりました。

## 運用概況

参照指数は前月末比で0.25%下落しました。組入資産のパフォーマンスについては、コモディティはプラスに寄与し国内株式、米国株式、欧州株式、新興国株式、米国リート、MLPはマイナスに寄与しました。

〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
〇当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
〇投資信託は、参照指数を対象とするスワップ取引に投資をしますので、市場環境、カウンターパーティーにかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します(為替変動リスクもあります)。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
〇当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
〇当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。
〇当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
〇投資信託は
1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。